

LIXIL 防火戸FG-L

防火戸FGシリーズ 国土交通大臣認定 防火設備

窓に求められるすべての価値を兼ね備えた、高性能ハイブリッド窓。



機能紹介

■アルミと樹脂のハイブリッド構造で、圧倒的な断熱性能を実現。

Low-E 複層ガラス

熱貫流率

2.33

W/(m²・K)

説明画像・イラストは防火戸FG-Hを使用しています。

※平成28年省エネルギー基準建具とガラスの組み合わせによる開口部の熱貫流率 (一般複層ガラス/Low-E複層ガラス(空気層10mm以上))

■アルミの良さと樹脂の良さを融合した「ハイブリッド窓」。

日本の窓のフレームは、大きく分けて2つあります。一つは、国内で現在主流になっている「アルミ」、そしてもう一つは、寒冷地で広く使われている「樹脂」です。素材の特性上、それぞれに利点と課題がありますが、ハイブリッド窓は、アルミの良さと樹脂の良さを融合、それぞれの利点を活かしながら、課題を解決することが可能です。

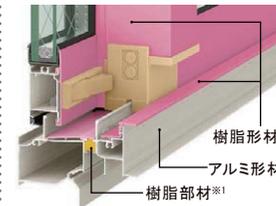
アルミ	+	樹脂
耐久性:○		耐久性:△
意匠性:○		意匠性:△
採光性:○		採光性:△
断熱性:△		断熱性:○
防露性:△		防露性:○

アルミの良さと樹脂の良さを融合
ハイブリッド窓

■窓の高性能化を実現する3つの技術コンセプト

1 ハイブリッド構造で フレーム高性能化

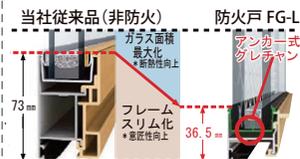
室外側に耐久性や強度に優れたアルミを採用し、雨、風、日差しによる劣化を防止。室内側には断熱性に優れた樹脂を採用し、熱の出入りを抑えます。



※1 防火戸FG-Lの下枠はサーマルブレイク構造ではありません。※画像はイメージです。

2 フレームをスリム化し ガラス面積最大化

窓の断熱性能を高めるためには、熱を通ししやすいフレームを小さくし、熱を通しにくいガラスを大きくする必要があります。防火戸FG-Lは、アンカー式グレッチェンを採用することで、ガラスとフレームを一体化。フレームの極小化とガラス面積の最大化により、優れた断熱性能を実現しています。



※画像は引違い窓の縦框です。※画像はイメージです。

3 先進のテクノロジーで 高い断熱性能を実現

従来の窓に比べ、暖房時の熱の流出、冷房時の熱の流入を抑え、室内の快適さを守ります。

当社従来品(非防火)	防火戸FG-L
熱貫流率 3.49 W/(m ² ・K) 以下相当	熱貫流率 2.33 W/(m ² ・K) 以下相当

【一般複層ガラス】 【Low-E複層ガラス】

画像はイメージです。

※平成28年省エネルギー基準 建具とガラスの組み合わせによる開口部の熱貫流率 (一般複層ガラス/Low-E複層ガラス(空気層10mm以上))

■Low-E複層ガラス グリーン

特殊金属膜と中空層のダブル効果で冬でも暖か。室内側ガラスにコーティングした特殊金属膜の効果で一般複層ガラスの約1.7倍の断熱効果を発揮。太陽熱を取り込みながら、室内の熱を逃がしません。

※一般複層ガラス3+A16+3とLow-E複層ガラスグリーン6.8+A12+3を比較

熱貫流率	1.3W/(m ² ・K)
日射熱取得率	44%
紫外線カット率	85%
可視光透過率	64%

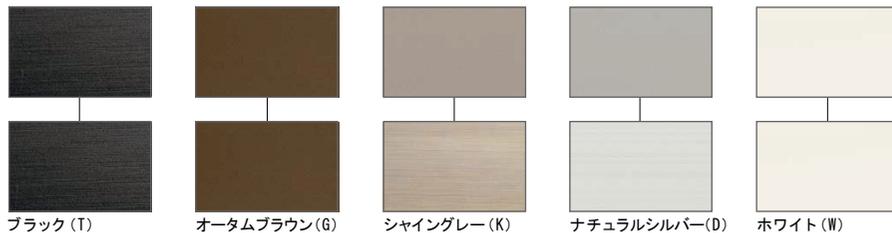
※6.8+A12+3の性能値となります。

バリエーション



カラーバリエーション

●内観色 (樹脂色)



●外観色 (アルミ色)



キッズデザイン 誰もが安心して使える安全性と操作性

■オペレーター

開閉操作間はハンドルを回すだけ。にぎりやすい形状でお子様からお年寄りまで操作しやすいユニバーサルハンドル。



■サブロック

錠旋時に枠内にすっきり収納。直感的に施錠状態がわかり、清掃もしやすくなっています。



■指はさみ防止構造

障子が完全に閉まる前にストッパー部品で止まるため、指をはさみにくい構造です。



■インナーピボット構造

ピボットヒンジを枠の中に隠すことで、吊元側の隙間が小さくなり、小さなお子様でも指をはさみにくい構造です。

※開閉角度に制限があります。採用にあたりご注意ください。

